

平成23年度新居浜市立図書館運営懇談会 記録

1. 日時：平成24年1月27日（金）15時30分～16時45分
2. 場所：新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール
3. 出席委員：森田委員、真鍋曜委員、真鍋絵里委員、大本委員、神野委員、中本委員、内田委員、新田委員
4. 欠席委員：森委員、玉井委員、藤繩委員
5. 事務局：坂本館長、高科副館長、和田副館長
6. 傍聴者：0名
7. 会議概要
(坂本館長)

昨年度の懇談会でだされました要望、意見で改善したものを簡単に報告します。本の帯を見返しの部分に張り付けてはどうかとの提案につきましては、主に小説や絵本類にできるだけ張り付けるようにしています。

また、子育て支援としまして多目的ホール側の女子トイレにおむつの交換できるベビーベッドと、トイレの中で子供が座ることができるベビーキープ、親子ふれあい室には授乳チェアとおむつ交換台を図書館側には女子トイレと障がい者が利用できる多目的トイレにそれぞれおむつ交換台を設置しました。児童コーナーには児童用チェアを5脚用意しました。

児童文学に関する講演会の提案につきましては、平成24年度が市制75周年、別子銅山記念図書館開館20周年にあたりますことから、落語絵本作家の川端誠氏をお呼びし、絵本ライブと講演会を実施する予定にしています。今のところ平成24年10月28日の予定で進めています。

1. 平成22年度の状況及び平成23年度の主な事業について

高科副館長説明

平成22年度及び平成23年度の主要行事について説明

学校図書館支援事業について

坂本館長説明

平成23年度4月から12月までの各学校における学校支援の状況について説明

(森田会長)

平成22年度から平成23年度に関し事業や図書館利用に関わっている人数は

増えているのですか

(坂本館長)

本館の貸出冊数は年々増えています。

(森田会長)

利用も順調に増えているようですね。

(真鍋絵里委員)

学校図書館について、図書館の学校支援員が協力してくれています。

図書室の環境整備、図書の貸し出し、読み聞かせなど、効果的で、とても助かっています。

(森田会長)

図書館として、学校からの要望がもっと増えても支援は大丈夫ですか

(坂本館長)

今、学校支援員は4名です。重点校は船木小学校と多喜浜小学校ですが、その活動をみて他の学校からも支援をしていただきたいという声がどんどんあがってきているというのが実情です。図書館で重点的に行いたいというのは、総合学習や授業で資料を提供したり、読書の時間に百科事典の使い方や辞書の使い方、図書館の使い方などを子供たちに先生と一緒にになって教えることをしていきたいと思います。要望がある学校も計画的に応えていきたいと思います。

(大本委員)

今のところ、商業高校では市立図書館との関わりはありません。生徒もなかなか市立図書館まで足を運んでいないようです。

(神野委員)

会社の中にも本がありますが、十分調査できないものについては、図書館まで足を運んだりしている人がいるという話は聞いています。基本的には休みの日に利用される方が多いのだろうと思います。

(中本委員)

私たちは図書館で月3回のお話会や夏の怖いお話し会などの図書館行事に参加させていただいております。平成4年から活動していますけど、だんだんお話し会の

回数も増えてきており、年々活動が活発になってきており、皆さんのが本に大変興味をもたれてきているなど強く実感しています。

(内田委員)

小学校への授業支援がこんなにたくさん活動されていてびっくりしています。図書館に日々来ながら、あまり気付かなかったです。これだけの活動をしているので、ホームページなどで市民に向けてもっとアピールしてはどうかと思います。

(新田委員)

活動報告を聞きまして、個人的ですけれど、新居浜に住んで、別子銅山を知ることがとても重要だと思います。先日図書館に来た時に図書館が行っている別子銅山に関する講演会がありましたが、ちょうど終わった時間に私が来たので、資料だけいただきましたが、次回の2月には楽しみに行きたいなと思います。CATVや角野地区で現地を訪ねて、勉強会をしているグループもありますし、いろんなところで新居浜の郷土の歴史を知ることができ、いい環境で学習できてよいと思います。

私個人は読み聞かせの活動をしていますが、図書館で紙芝居や大型絵本など借りに来た時すごく充実していました。このような活動をしているかたは、まず、図書館にきていただいたらいいのではないかと思います。

(森田会長)

別子銅山に関し、多くの小学校や中学校で総合的な学習の発展的な扱いで、学習を進めていっているので、図書館のほうで今年度別子銅山コーナー設置したり、別子銅山関係の講座を開催していることは、同じような流れで進んでおり、地域に根ざす学習は必要であると思いますので、来年度も是非続けていただきたい。

(真鍋副会長)

平成23年度の事業を見ていて、一番目についたのは、別子銅山記念図書館で、別子銅山の講座を開始したことはとても大きな意義があるのではないかと思います。

2. 雑誌スポンサー制度について

和田副館長説明

- ・スポンサーに雑誌の購入費用を負担していただき、提供していただいた雑誌を図書館に配架し、図書資料等の充実を図る制度。
- ・雑誌の新刊号のカバー表面にスポンサー名及び雑誌裏面にスポンサー広告の掲載

【効果】

- ・図書資料等の充実
- ・スポンサーの情報発信及び社会貢献

【他図書館の状況】

四国内・・・徳島県立図書館

三好市中央図書館（徳島県）

今後、新居浜市立図書館において導入について検討していく。

（内田委員）

基本的には賛成でいいことであると思いますが、具体的にどういうスポンサーを考えているのか。たとえば宗教団体とかがスポンサーになるのはどうかなと思います。

（和田副館長）

新居浜市の広告事業実施要綱に基づきその規定内でのスポンサーであり、その都度問題ないか検討していくこととなります。また、具体的には、健康雑誌であれば、病院関係など雑誌の内容に関係ある業者や団体に、スポンサーになっていただくなど、図書館からも各企業、団体に案内していきたいと思います。

（森田会長）

図書館の雑誌にスポンサーになってもらって、図書館の資料も充実するように、広報活動も充実させて多く集まるように努力してほしいです。

（真鍋副会長）

雑誌のリクエストもあると思いますが、このような雑誌を入れて欲しいとのリクエストもできますか

（高科副館長）

雑誌スポンサー制度はあくまでも、現在購入している雑誌の中からスポンサーになっていただく制度であります。新たな雑誌の購入については、予算も決まっていますので、雑誌の利用頻度や内容等検討しながら見直していくことになります。

3. 新居浜市立図書館協議会

和田副館長説明

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係

法律の整備に関する法律が施行し、図書館法が改正されるのに伴い、新居浜市立図書館運営懇談会に変わり図書館法に基づく「新居浜市立図書館協議会」を4月より設置予定。設置にあたって、条例の改正案及び新居浜市立図書館協議会規則の制定案及び協議会の内容について説明。

出席委員・・・・承諾

(森田会長)

さらに積極的に図書館の運営についての働きかけ、また、協力体制をとっていくということでお願いしたいと思います。

4. その他

(内田委員)

新居浜市以外の人は図書館カードをつくれません、西条市、四国中央市は他の方も受けています。新居浜市の税金で運営しているのでしかたないかもしれません、今後の方向性を教えて欲しいです。

利用していて本が傷んでいたり、書き込みをしていたり、紛失している本がありますが、みんなが気を付けるしかないと思いますが、何かいい方法がありませんか。

企画展をさらに充実していただくとありがたいです。たとえば、有名な絵本作家が亡くなったときに、企画展を開催するなど司書さんの腕のみせどころとして頑張っていただきたいと思います。

(坂本館長)

市外の方への貸出の件につきましては、これは、ずっと懸案事項になっておりますが、現状は相互貸借として西条から本を貸し借りしたり、四国中央市から本を貸し借りたりしていますが、実情としては新居浜市に対して多くの申し出があります。ということは、新居浜市の資料がとても充実しているといえます。市民が中心の図書館であるので、これ以上広げるとどうかなということがあります。あと、駐車場の問題もでてきます。また、延滞している人に対して、市内でしたら市民課で住所が変わっていても追跡調査ができますが、市外だと調べることができないという問題がでてきます。他市の方でどうしても新居浜市の図書館の資料を借りたいときは、相互貸借の制度を利用していただいている。

(高科副館長)

例えば予約待ちの場合、多い本でしたら、50人待っている場合もありますので、市外の方も含めますとさらに100人ぐらいになって市民で借りたい方がかなり先になってしまふことも考えられます。

(坂本館長)

図書館マナーについては、市民のモラルの関係になってくると思いますが、書き込みをしないでくださいという張り紙やでロビー展でこのような困った利用されていますという、写真や現物を掲示したりして注意を促したりしています。

一部の本は出入り口のところで、手続をしないで持ち出すと音が鳴るようにしていますが、全部の資料にしますと大変な費用になりますので、一部の貴重な資料のみしています。最終的には市民のマナーになり、どこの図書館も同じ課題を抱えています。

(内田委員)

具体的に1年間で何冊ぐらい盗難、紛失しているのか教えてほしい。

(坂本館長)

5、6年に1回図書館システムを更新しますが、その時に一斉にチェックします。平均で年間2~300冊くらいになっています。

(坂館長)

企画展につきましては、社会情勢や作家が亡くなったりしたときなど、こちらで気がついたら実施しているつもりであります、一層充実させていきたいと思っています。

(森田会長)

個人一人ひとりの自覚とモラル、小学校、中学校、高校時代に培ったものが大人になってでてくるものだと思いますので学校教育とも連携して取り組んでいきたいと思います。

(真鍋副会長)

閉会のあいさつ